

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立梅香小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は妥当である。それぞれの課題解決に向けて取り組んでいることが評価された。今後も課題解決に向け、取り組んでいくように、との意見を受けた。

2 年度目標ごとの評価

【安心・安全な教育の推進】

年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ② 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

①について、ニュース等で、SNSによる児童間のトラブルやいじめにつながる事象が話題になっているが、本校でもそういった事案が発生しないよう情報モラル教育に取り組んでほしいとの意見があった。

②について、ステップルームを活用した不登校児童の支援に継続して取り組み、区役所等の関係諸機関とも連携していくことが必要であるとの意見を受けた。

③について、肯定的に回答する児童は多いものの、否定的な回答をする児童も一定数見られることから、自分に自信を持つことができない児童への声かけや支援が必要であるとの意見があった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を41%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。

①については、隣の児童や小さなグループでの話し合いであれば、自分の意見を伝えることができる児童が多いことから、様々な形態で話し合い活動に取り組むことが必要であるとの意見があった。

②については、今年度は前年度の結果よりも上昇しているため、引き続き継続した指導に取り組むよう意見を受けた。

③については、運動が「好き」と回答する児童が多いことが、体力・運動能力調査の結果にも大きな影響を与えていると考えられるため、継続して児童が意欲的に運動に取り組むことができるよう支援していくことが必要であるとの意見を受けた。

【学びを支える教育環境の充実】

年度目標

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を69%以上にする。

①については、端末を家庭に持ち帰った翌日、学校に持ってくることを忘れてしまう児童がいることが話題に上り、毎日の端末持ち帰りの習慣をしっかりと身につけさせることが大切であるとの意見を受けた。また、「心の天気」の確認が、児童の様子の把握につながることから、毎日チェックすることは大変であるが、とても重要なことであるとの意見を受けた。

②については、教員が笑顔で児童と接することができるためにも、引き続き、環境の充実に取り組んでほしいとの意見を受けた。

3 今後の学校運営についての意見

- どの目標についても、今後も継続した取り組みが必要である。引き続き児童が安心・安全な環境で学習活動ができるよう地域も一体となって協力したい。
- 児童が動物や植物と触れあう機会が減っていると感じる。学習園での栽培や収穫などの活動を活発にしてほしい。また、地域の公園を清掃するなど、公園を大切にす意識につながるような活動にも取り組んでほしい。